

第15回WPIサイエンスシンポジウム

応募期間

5/1~

6/30

高校生・高専生
ポスター発表者募集

わたし発の世界初！

誰かに伝えたいサイエンス

$E=mc^2$

詳しくはコチラ



2026年6月30日×切

2026 **11.14** SAT

「わたし発の世界初」を、
研究者と語り合う日！

開催日 2026年11月14日(土) 10:30 - 16:40

会場 大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター
(大阪府吹田市山田丘1-1)

主催 大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 (WPI-PRIME)



高校生・高専生 × 研究者ポスター発表

申込〆切：2026年6月30日(火)

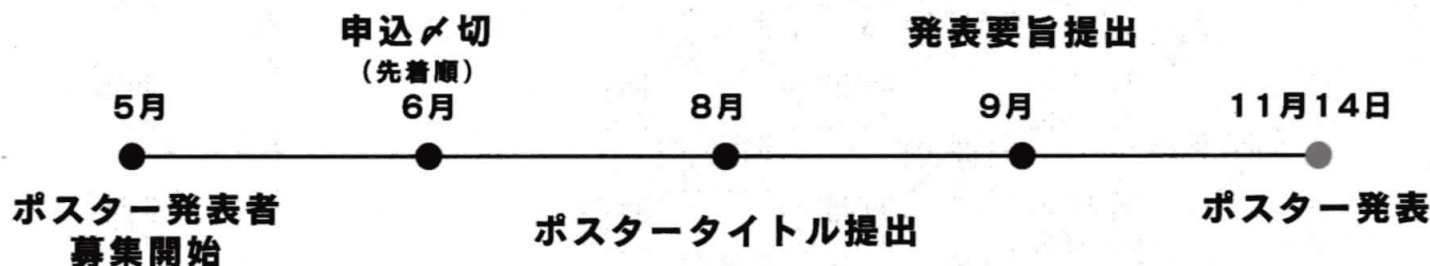
第15回WPI¹⁾サイエンスシンポジウムでは、全国のWPIに所属する若手研究者と同じ会場でポスター発表を行う高校生・高専生を募集します。WPI事業開始から20年目となります今回は、2025年のノーベル生理学・医学賞受賞者でWPI拠点の研究者である坂口志文大阪大学特別栄誉教授による講演をはじめ、様々なプログラムを予定しています。

*) WPI について

文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI: World Premier International Research Center Initiative) は、「研究分野や国のボーダーを越えて、第一線の研究者が集まる世界に開かれた研究拠点を日本に構築する」ことを目的とし、基礎研究分野において融合分野開拓に貢献する18のWPI研究拠点が国内に設立され、国際的に活発な研究活動を行っています。



ポスター発表までのスケジュール



君たちが世界を動かす最前線に

詳しくはコチラ



注意事項

- ・ 学校単位でお申し込みください。
- ・ 各校最大生徒 5 名・引率教員 1 名まで応募できます。ポスターはグループ研究でも、個人研究でも可能で、原則、各校最大5枚までとします。
- ・ ポスター発表者は、原則午前の部 (講演会) への参加が必須です。
- ・ 交通費・ポスター制作費は、参加者又は各校でご負担ください。ただし、会場と学校等との直線距離が概ね 150km 以上である場合、発表を担当する生徒と引率教員の往復交通費をPRIMEが補助することもできます。(宿泊費はカバーしません。日帰りを想定しています。)

本件問合せ先：

大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点(WPI-PRIME)

第15回WPIサイエンスシンポジウム担当

〒565-0871大阪府吹田市山田丘2-2

☎ 06-6210-8315

✉ planning@prime.osaka-u.ac.jp

令和8年6月吉日

各位

国立大学法人大阪大学
ヒューマン・メタバース疾患研究拠点(WPI-PRIME)
事務部門長
土井 健史**WPI サイエンスシンポジウム 2026****「わたし発の世界初！～誰かに伝えたいサイエンス～」
高校生・高専生による研究ポスター発表の募集について**

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本学に対しまして、何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ヒューマン・メタバース疾患研究拠点(WPI-PRIME)は、文部科学省が推進する世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)の国際研究拠点として2022年に大阪大学に設立され、生命医科学と情報・数理科学を融合した新たな研究分野「ヒューマン・メタバース疾患学」を基盤としています。

WPIでは年に一度全拠点が集まり、一般向けイベントWPIサイエンスシンポジウムを開催しています。WPI事業開始から20年目であり、サイエンスシンポジウムとして15回目となります今回は、**昨年のノーベル生理学・医学賞受賞者であり本学WPI-IFReCご所属の坂口志文特別荣誉教授のご講演をはじめ、各WPI拠点紹介ブースの展示、高校生とWPI若手研究者の研究ポスター発表を中心とした企画を予定しています。**

「高校生・高専生による研究ポスター発表募集」のチラシおよび募集要項を同封いたしますので、ご興味がある方・適任の方がいらっしゃいましたら、ぜひとも、ご案内をいただきたくお願い申し上げます。また、チラシの追加をご所望の際には、以下のお問い合わせ先までご連絡いただけますと幸甚です。

一昨年度は京都大学のWPI-ASHBiにて、昨年度は高エネルギー加速器研究機構のWPI-QUPにて同様の企画が実施され、高校生の皆さんの研究活動の活発さに大いに啓発されました。今回の企画も優秀賞の選考・表彰を予定しております。

私たちの狙いは、各分野で先進研究に取り組んでいる若手研究者と高校生がともにポスター発表を行い、昼食をともにしながら自由に議論できる機会をつくることにあります。そのため、必ずしも完成したポスターの出展である必要はなく、研究の途中経過や、ちょうど壁にぶつかっている課題なども大歓迎です。ぜひ気楽に応募いただければ幸いです。お申し込みはWebフォームからとなっております、学校ごとでまとめた応募になります。

今後とも、当拠点にご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

本件問合せ先:

大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点(WPI-PRIME)

第15回WPIサイエンスシンポジウム担当

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

☎ 06-6210-8315

✉ planning@prime.osaka-u.ac.jp

第

15

-86.-5

京立六庫高校

WPIサイエンスシンポジウム 2026
「わたし発の世界初！～誰かに伝えたいサイエンス～」
高校生による研究ポスター発表を募集します

概要

WPIサイエンスシンポジウムにおいて、ポスター研究発表と研究者との交流会に参加する高校生・高専生を募集します。

WPIサイエンスシンポジウムについて

開催日 2026年11月14日(土) 10:30-16:40
会場 大阪大学吹田キャンパス(大阪府吹田市山田丘1-1)
主催 大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点(WPI-PRIME)

年に一度WPI*)全拠点が集まり、一般向けイベント **WPIサイエンスシンポジウム**を開催しています。WPI事業開始から20年目であり、サイエンスシンポジウムとして15回目となります今回は、**2025年のノーベル生理学・医学賞受賞者でWPI拠点の研究者である坂口志文特別荣誉教授による高校生向けの研究成果の講演、当拠点の研究紹介、各WPI拠点紹介ブースの展示、および高校生とWPI若手研究者の研究ポスター発表を中心とした交流プログラム**を企画しています。

今回、シンポジウムでポスターを発表して下さる高校生・高専生を募集します。発表内容は、生物、物理、化学、情報、地学など、科学に関するものであれば分野を問いません。発表は完成した研究である必要はなく、途中の迷っているところ、困っていることについての発表も歓迎します。

ポスター発表を通して、若手研究者と交流し、現在進行中の研究へのアドバイスを受けたり、WPIでの研究について知ってもらえたらと思います。

***) WPIについて**

文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI: World Premier International Research Center Initiative)は「**研究分野や国のボーダーを越えて、第一線の研究者が集まる世界に開かれた研究拠点を日本に構築する**」ことを目的とし、基礎研究分野において融合分野開拓に貢献する18のWPI研究拠点が国内に設立され、国際的に活発な研究活動を行っています。

タイムスケジュール(時間が若干変更になる可能性があります)

- | | |
|---------------|-----------------------------------|
| 9:30 - | 発表者向け開場(受付とポスター準備) |
| 10:00 - | 一般来場者向け開場 |
| <午前の部> | |
| 10:30 - 10:45 | 開会挨拶 |
| 10:45 - 11:15 | 坂口志文先生の講演 |
| 11:15 - 11:30 | PRIME研究者講演①林克彦先生(PRIME) |
| 11:30 - 11:45 | PRIME研究者講演②AI研究者(PRIME) |
| 11:50 - 12:20 | 坂口志文先生とWPI若手研究者・高校生によるパネルディスカッション |
| <昼食> | |
| 12:20 - 13:30 | WPI研究者とポスター発表者の交流昼食会 |
| <午後の部> | |
| 13:30 - 14:50 | ポスターセッションI(高校生・高専生) |
| 14:50 - 16:10 | ポスターセッションII(研究者) |
| 16:10 - 16:40 | 優秀ポスター賞の発表、閉会挨拶 |

プログラム

午前の部

10:00までに各自ポスターを会場に展示していただき、ホールに移動してください。開会挨拶の後、2025年にノーベル生理学・医学賞を受賞した坂口志文先生の講演があります。次に、当拠点の研究者による研究紹介があり、坂口志文先生とWPI拠点に所属する若手研究者2名に高校生の代表者2名（有志）を加えたディスカッションがあります。**高校生の皆さんから事前に受け付けた質問を坂口先生と研究者の皆さんに聞き**、高校生の皆さんが研究者や研究への理解を深めるプログラムを予定しています。ディスカッションに参加する高校生の方は、ポスター発表者の皆さんの中から後日募集します。

昼食（WPI 若手研究者とポスター発表者の交流会）

ポスター発表を行った高校生・高専生・引率教員とWPI若手研究者による交流会を、昼食を取りながら行います（ランチミーティング）。昼食はPRIMEがご用意します。

午後の部

まず、高校生・高専生によるポスター発表を始めます。ポスター展示者は自分のポスターの前で、参加者に自分の研究を説明してください。一般の参加者だけでなく、多数のWPI研究者と広報担当者が聴衆になりますので、研究で困っていることなどがありましたら、そちらも議論しましょう。次に、WPI各拠点の若手研究者18名によるポスター発表を行い、世界最先端の研究について解説します。

ポスター発表の後には午前中の会場（ホール）に移り、壇上にて高校生・高専生ポスターの優秀賞発表および表彰を行い、閉会となります。

ブース展示

午前の部から午後の部のポスター発表の時間にかけて、同会場にて全国18か所のWPI拠点によるブース展示を行います。各大学や拠点の特徴、どのような研究を行っているのかについて、各拠点の広報担当者が分かりやすく説明します。

ポスター発表 申し込み方法

ポスター発表を希望する高校生・高専生（および引率教員）は以下のWebページよりお申し込みください。＜締切：2026年6月30日（火）＞
<https://forms.cloud.microsoft/r/JPYcYGV9Kp>

*ポスター掲示スペースの制限上、申し込み多数の場合は、締め切り前に受付を締め切る可能性があります。

申し込みの際する注意事項

- 学校単位でお申し込みください。
- 各校最大生徒 5 名・引率教員 1 名まで応募できます。ポスターはグループ研究でも、個人研究でも可能で、原則、各校最大 5 枚までとします。
- ポスター発表者は、原則午前の部（講演会）への参加が必須です。
- 交通費・ポスター制作費は、参加者又は各校でご負担ください。ただし、会場と学校等との直線距離が概ね 150km 以上である場合、発表を担当する生徒と引率教員の往復交通費をPRIMEが補助することもできます。（宿泊費はカバーしません。日帰りを想定しています。）

※ポスター発表を希望しない参加者については、後日募集いたします。こちらの参加登録開始は 8 月を予定しています。ポスターセッション、講演会に参加し、各WPIのブース展示もご覧いただけます。

9/24(土)

第70回

全国学芸サイエンス コンクール

National Art & Science Contest

スタートアップ部門

写真部門

ポスター／デザイン部門

読書感想文部門

作文／小論文部門

小説部門

詩部門

絵画部門

書道部門

理科自由研究部門

自然科学研究部門

社会科自由研究部門

人文社会科学部部門

得意なジャンルで
チャレンジ!

応募締切

2026年9月24日 木曜日

当日消印有効

主催 旺文社

後援 文部科学省／環境省／経済産業省／こども家庭庁 (予定)

特別協賛 日本英語検定協会／大日本印刷 (予定)

特別協力 全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会

全国小学校理科研究協議会／全国中学校理科教育研究会

日本科学技術振興財団／日本芸術院／早稲田大学／慶應義塾／共同通信社／旺文社ベンチャーズ (予定)

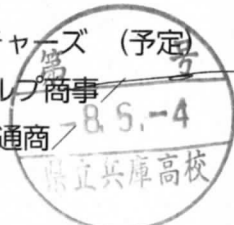
協賛 岩岡印刷／大塚商会／大林組／旭洋／三省堂印刷／システムシンク／シロキ／新生紙パルプ商事

高尾丸王製紙／チエル／中越パルプ工業／TOPPANクロレ／日能研／日新印刷／日本紙通商

日本生涯学習総合研究所／日本書道教育学会／日本製紙／パイロットコーポレーション／

北越コーポレーション／みずほ銀行／ロジテムエージェンシー (予定)

全国学芸サイエンスコンクールは
SARTRASの2026年度助成事業です。



サイエンスジャンル (理科系・社会科系の各研究分野)
学芸ジャンル (アート・文芸Ⅰ・文芸Ⅱ・環境の各分野)
イノベーションジャンル (スタートアップ系の分野)
 の3つの系統、**全13部門**で作品を募集します。
 幅広く多様な分野に多くの部門を設け、みなさんがそれぞれの得意分野で制作した作品をご応募いただける総合コンクールとなっています。
 夏休みの創作活動や学習成果の発表の場として積極的なご応募をお待ちしています。

各部門とも応募の規定がありますので、ホームページより応募要項等をご確認ください。



<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

応募締切 2026年 **9月24日** 木曜日 当日消印有効

賞

(※賞は変わる場合があります)

- ★ 内閣総理大臣賞 (1点)
- ★ 文部科学大臣賞 (7点)
 [サイエンスジャンル (3点)・学芸ジャンル (3点)・イノベーションジャンル (1点)]
- ★ 環境大臣賞 (1点)
- ★ 分野賞 (6点)
 サイエンス分野
 アート分野
 文芸Ⅰ分野
 文芸Ⅱ分野
 環境分野
 イノベーション分野
- ★ 学校特別奨励賞 (各部門1校 全13校)
- ★ 部門賞金賞 (各部・各部門1点 特別賞を除く全17点)
- ★ 旺文社赤尾好夫記念賞 (全416点)
- ★ 読書感想文部門努力賞 (全51点)
- ★ 理科自由研究部門努力賞 (全34点)
- ★ 学校奨励賞 (全54点)

募集部門	小学生の部	中学生の部	高校生の部
サイエンス分野			
① 理科自由研究部門	● <small>※小学4年生以上</small>	●	—
② 自然科学研究部門	—	—	●
③ 社会科自由研究部門	● <small>※小学4年生以上</small>	●	—
④ 人文社会科学研究部門	—	—	●

アート分野			
⑤ 絵画部門	●	●	●
⑥ 書道部門	●	●	●
文芸Ⅰ分野			
⑦ 小説部門	—	●	●
⑧ 詩部門	●	●	●
文芸Ⅱ分野			
⑨ 読書感想文部門	●	●	●
⑩ 作文/小論文部門	● <small>※作文での応募</small>	● <small>※作文での応募</small>	● <small>※小論文での応募</small>
環境分野			
⑪ 写真部門	●	●	●
⑫ ポスター・デザイン部門	●	●	●

イノベーション分野			
⑬ スタートアップ部門	● <small>※小学4年生以上</small>	●	●

参加賞 (2027年2月下旬～3月上旬頃の発送予定)

コンクールに参加してくださった方全員に、差し上げます。

- ※ 個人応募の方でも参加賞は学校経由でお届けします。あらかじめ担当の先生などにお話をしておいてください。
- ※ 塾応募の場合は、塾経由でお届けします。
- ※ 参加賞は作品を何点応募されてもお一人様一つとさせていただきます。



第69回参加賞
 ※第70回の参加賞は未定です。

金賞作品集について

第69回金賞作品集をご希望の学校・塾・団体様へ今回に限り1冊まで無料でお送りします。
 数に限りがあるため、お早めに下記お問い合わせ先までメールにてお申し込み下さい。



お問い合わせ

株式会社 旺文社 全国学芸サイエンスコンクール事務局
 〒162-8680 東京都新宿区横寺町55
 Eメール gakkon@obunsha.co.jp
 (Eメールでの作品応募はできません)
 TEL.03-3266-8002 FAX.03-3266-6849



旺文社主催

全国学芸サイエンスコンクール

文部科学省・環境省・経済産業省・こども家庭庁 後援 (申請中)

学ぶ人は、
変えて
ゆく人だ。



応募要項

サイエンス分野・アート分野・文芸Ⅰ分野・文芸Ⅱ分野・環境分野・イノベーション分野・応募手順・応募票の添付方法・

作品応募先

サイエンスジャンル

■サイエンス分野共通

- 同一部門での応募は1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したのものや、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
※都道府県規模のコンクールに応募した作品も応募可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。
※破損した場合、当コンクールでは責任を負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。
(発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。)
- 小学4年生～高校3年生対象。
- グループなど共同制作した作品の応募も可。グループ応募の場合は、作品の巻末にグループ名と制作者全員の名前、指導した先生名を明記し、応募用紙・応募票の名前の欄にグループ名と制作に携わった人数を記入。
- レポート用紙を使用した場合は、必ずページ番号をふる。パソコン入力などのプリントアウトも同様。
- 『継続研究』について
Part 2、Part 3などの継続研究を応募する場合は、作品の1ページ目にPartごとの研究成果や発展内容を簡潔にまとめること。また、コンクール受賞歴がある場合は、受賞したパートに「〇〇コンクール 西暦何年受賞」と記載のこと。
- 生成AIによる作品は不可。(生成AIについてを参照)

①理科自由研究部門 (小4～中)

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。

テーマ

- 自由。

内容

- 理科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を記すること。

枚数

- レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
- パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。枚数は規定なし。小学生は模造紙・画用紙使用も可。

②自然科学研究部門（高）

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。

テーマ

- 自由。

内容

- 物理・化学・生物・地学などの理系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。

枚数

- レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
- パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。文字数は8,000字以上。本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。規定文字数に足りない場合は選外となる場合がある。

③理科自由研究部門（小4～中）

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。

テーマ

- 自由。
- 社会科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。

枚数 →

- レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
- パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。枚数は規定なし。
- 小学生は模造紙・画用紙使用も可。

④自然科学研究部門（高）

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。

テーマ

- 自由。

内容

- 物理・化学・生物・地学などの理系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。

枚数

- レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
- パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。文字数は8,000字以上。本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。規定文字数に足りない場合は選外となる場合がある。

学芸ジャンル

■アート分野共通

- 同一部門での応募は1人（1グループ）1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したのものや、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
※都道府県規模のコンクールに応募した作品も応募可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。
※破損した場合、当コンクールでは責任は負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。
(発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。)
- 小学1年生～高校3年生対象。
- 個人作品に限る。
- 生成AIによる作品は不可。(生成AIについてを参照)

⑤ 絵画部門（小・中・高）

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。

テーマ/素材

- 自由。

サイズ

- 6号大(410mm×318mm)以上～50号大(1,167mm×910mm)以内。
※規定より小さい作品を規定サイズの紙に貼るなどした場合は、選外となる。
※絵画の大型作品につきましては、基本的には2作品ずつの梱包でご返送する予定です。
(10作品の場合は2作品×5個口になる予定ですが、作品によっては1作品ずつになる場合がございます)

その他

- 立体作品は不可。また、立体物や破損しやすいものを貼り付けた作品も選外となる。

⑥ 書道部門

■小学生の部・中学生の部

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。

文字・書体

- 自由（学年に合ったものを選ぶこと）。

サイズ

- 半紙または画仙紙半折の1/4（約340mm×350mm）を使用。

文字数

- 小学1～3年は2字以内。
- 小学4～6年は6字以内。
- 中学生は6字以内。

その他

- 学年・名前を書き入れること。

■高校生の部

※WEBエントリーシステムで出力したQRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。

文字・書体

- 自由題で、書体・書式は自由。

サイズ

- 画仙紙半切大（約1,350mm×350mm）または画仙紙聯落ちを上方向から580mmに切ったもの（約580mm×530mm）を使用。半紙は不可。

その他

- 作品の読み方を応募票に必ず明記すること。仮表装の必要なし。

サイエンス分野・ アート分野・ 文芸Ⅰ分野・ 文芸Ⅱ分野・ 環境分野・ イノベーション分野・ 応募手順・ 応募票の添付方法・

作品応募先

学芸ジャンル

■文芸Ⅰ分野共通

- 小学1年生～高校3年生対象。（小説部門のみ中学1年生～高校3年生対象）
- 同一部門での応募は1人（1グループ）1点とする。
※都道府県規模のコンクールに応募した作品も応募可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。
※破損した場合、当コンクールでは責任を負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。
（発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。）
- 個人作品に限る。
- 書き出しに題名・名前を明記すること。原稿用紙には必ずページ番号をふる。パソコンなどで作成し、プリントアウト（1ページ400字詰め）した作品にも、必ずページ番号をふること。
- 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- 規定枚数を超えた作品は、選外となる。
- 生成AIによる作品は不可。（[生成AIについて](#)を参照）

⑦小説部門（中・高）

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品のオモテ面にホチキス止め。

テーマ

- 自由。

枚数

- 400字詰原稿用紙10枚から80枚以内で、タテ書きとする。パソコンを使用する場合には1枚を400字詰めとすること。

その他

- 原稿用紙1枚程度に「あらすじ」をまとめ、作品の冒頭に必ず添付する。なお、「あらすじ」は規定枚数には含まれないため、ページ番号はふらないこと。
※「あらすじ」がない場合は、選外となる。

⑧詩部門（小・中・高）

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品のオモテ面にホチキス止め。

テーマ

- 自由。

その他

- 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。パソコン入力可。

学芸ジャンル

■文芸Ⅱ分野共通

- 小学1年生～高校3年生対象。
- 同一部門での応募は1人（1グループ）1点とする。
※都道府県規模のコンクールに応募した作品も応募可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。
※破損した場合、当コンクールでは責任は負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。
(発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。)
- 個人作品に限る。
- 書き出しに題名・名前を明記すること。原稿用紙には必ずページ番号をふる。パソコンなどで作成し、プリントアウト（1ページ400字詰め）した作品にも、必ずページ番号をふること。
- 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- 規定枚数を超えた作品は、選外となる。
- 生成AIによる作品は不可。(生成AIについてを参照)

⑨読書感想文部門（小・中・高）

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品のオモテ面にホチキス止め。

書 籍

- 自由。

枚 数

- 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。(パソコン入力可)
- 原則として、1行目はタイトル、2行目は氏名、3行目から本文スタートとする。
 - ▶小学1～4年生 2～3枚
 - ▶小学5・6年生 3～4枚
 - ▶中学生・高校生 4～5枚

その他

- 応募票に、書名・著者名・出版社名を明記すること。

⑩作文／小論文部門 (小・中・高)

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品のオモテ面にホチキス止め。

テーマ

- 自由。

その他

- 高校生の小論文は自分の意見や判断・推論などを述べたもの。
- 参考文献を明記すること(規定枚数には含まれない)。

枚 数

- 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。(パソコン入力可)
- 原則として、1行目はタイトル、2行目は氏名、3行目から本文スタートとする。
 - ▶小学生 2～6枚
 - ▶中学生 4～10枚
 - ▶高校生 8～20枚

サイエンス分野・アート分野・文芸Ⅰ分野・文芸Ⅱ分野・環境分野・イノベーション分野・応募手順・応募票の添付方法・
作品応募先

学芸ジャンル

■環境分野共通 (小・中・高)

- 小学1年生～高校3年生対象。
- 同一部門での応募は1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したのものや、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも、賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
 - ※都道府県規模のコンクールに応募した作品も応募可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。
 - ※破損した場合、当コンクールでは責任は負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。

(発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。)

- 個人作品に限る。
- 環境問題をテーマにした作品に限る。
- 作品名は必ず応募票に明記すること。
- 生成AIによる作品は不可。(生成AIについてを参照)

⑪写真部門 (小・中・高)

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。

テーマ

- 環境問題をテーマにした作品に限る。
- (例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める写真に限る。

サイズ

- 六つ切り (203mm×254mm) 以上～四つ切り (254mm×305mm) 以内。デジタル写真は、規定サイズ範囲内の写真用光沢紙にプリントアウトしたものに限り。

その他

- 作品のタイトルを必ず応募票に明記する。カラー・モノクロのいずれでもよい。
- スマートフォン、デジタルカメラなど、静止画を撮影できるすべての機器で撮影した作品。
- 画像の加工や合成※など、修正した作品は不可。
※合成とは、作品表現上、重要な要素になるような加筆や削除など二次的な画像加工処理を施すことを指す。軽度の明るさ、色の補正は合成には入らない。

ポスター／デザイン部門 (小・中・高)

※WEBエントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。

ポスターで応募

テーマ

- 環境問題をテーマにした作品に限る。
- (例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高め作品に限る。
- ポスターには、ふさわしい言葉やキャッチフレーズを入れること。また、キャッチフレーズと作品タイトルは同一にすること。

サイズ

- B3 (515mm×364mm) 以上～B全判 (1,085mm×765mm) 以内。
- デザインで応募

テーマ

- 環境問題をテーマにした絵柄・図案等を表現した作品に限る。

- (例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める作品に限る。壊れやすいものは不可。

サイズ

- B全判 (1,085mm×765mm) 以内。

サイエンス分野・アート分野・文芸Ⅰ分野・文芸Ⅱ分野・環境分野・イノベーション分野・応募手順・応募票の添付方法・

作品応募先

イノベーションジャンル イノベーション分野

■スタートアップ部門 (小4～中・高)

みなさんが思い描く、柔軟で革新的なアイデアを募集しています。

- 小学4年生～高校3年生対象。
- 同一部門での応募は1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したものや、盗作や不適切な引用などがあつた場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
※都道府県規模のコンクールに応募した作品も応募可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。
※破損した場合、当コンクールでは責任は負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。
(発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。)
- グループなどで共同制作した作品の応募も可能。グループの人数制限はなし。クラス単位での応募も可能。グループでの応募の場合は、作品の巻末にグループ名と制作者全員の氏名、指導した先生名を明記してください。
- PDFやJPEGなどの電子データで送付(紙でも受付可能。用紙のサイズ指定はなし)。
- 学校応募の場合、提出作品をフォルダにまとめ、フォルダを圧縮したzipファイルで提出すること(フォルダ名は学校名にすること)。
- 指定フォーマットの使用は自由。指定フォーマットを使用しない場合は、表紙に学校名、学年、氏名、作品名を記載すること。
- 他部門と応募方法が異なりますので詳しくは「[指定フォーマット・スタートアップ部門応募要項\(PDF\)](#)をご覧ください。
- 生成AIによる作品は不可。(生成AIについてを参照)

テーマ

- 小学生、中学生、高校生共通
 - ① 地域活性化ビジネス
 - ② 社会・環境問題解決ビジネス
 - ③ 未来の学校・教育ビジネス
 - ④ その他のテーマでのスタートアップアイデア

審査形式

- 一次審査：書類(企画書)
- 二次審査：プレゼンテーション動画

応募手順

WEBエントリーシステムに登録、応募用紙とQRコード付き応募票をプリントします。

応募用紙は作品に同封、応募票は作品のウラにのり付け（文芸分野は作品オモテにホチキス止め）して、作品を事務局に送ります。

1 事前応募登録（アカウント作成）

2 メール記載 URLからログイン

3 応募登録

4 応募内容の更新・確定

スタートアップ部門はSTEP4の更新画面で作品（ファイル）を添付してください。

5 応募用紙のダウンロード・印刷

6 旺文社への郵送

応募票は作品に貼付、応募用紙は作品に同封してください。

7 当サイトで入賞発表

WEB エントリーシステム 事前応募登録 [アカウント作成]

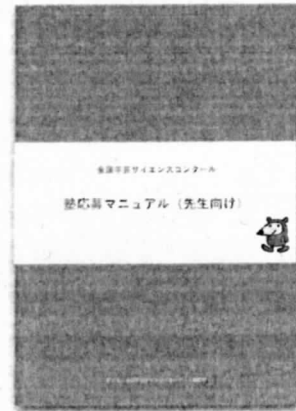
詳しくは応募区分別の応募用マニュアル（PDF）に沿って応募用紙および応募票を作成してください。



学校応募用マニュアル
PDF



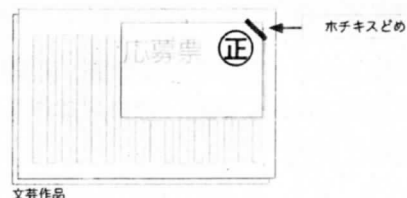
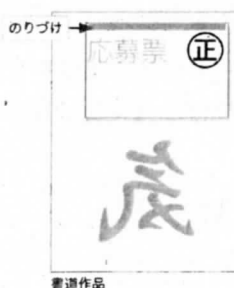
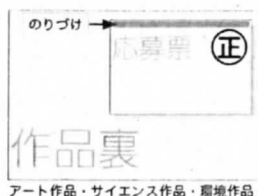
個人応募用マニュアル
PDF



塾応募用マニュアル
PDF

応募票の添付方法

- 部門により貼付方法が変わります。文芸作品はオモテ面にホチキスで止めてください。その他の作品はウラ面に糊付けします。



送付先・作品応募しめきり 9月24日（木）当日消印有効

〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 株式会社 旺文社 全国学芸サイエンスコンクール事務局。
電話 03-3266-8002 Email gakkon@obunsha.co.jp

※Eメールでのご応募はできません。（スタートアップ部門を除く）

サイエンス分野・アート分野・文芸Ⅰ分野・文芸Ⅱ分野・環境分野・イノベーション分野・応募手順・応募票の添付方法・
作品応募先

◆作品返却について

作品返却は原則いたしません。必要に応じてコピーや写真をとっておいてください。ただし、サイエンスジャンル・絵画・ポスター・書道に限っては、希望者に限り返却対応をいたします。

返却にかかる費用は、応募者のご負担となります。※ゆうパック使用予定(着払い)。その他の宅配業者を使用する場合があります。なお、金銀銅賞受賞作品は、2027年3月5日(金)の表彰式で展示予定です。ご返却を希望された場合は、表彰式後のご返却となりますことをご了承ください。

◆応募作品の著作権について

入賞作品を含むすべての応募作品の著作権は、応募者（作者）に帰属します。ただし、応募者は、応募の時点で、主催者（旺文社）が応募作品について作品集、ホームページ、動画集などへの掲載等を含む当コンクール事業に関する利用を行うこと、および当コンクール事業に関して旺文社の取引先および新聞社等を含む第三者に対し利用させることを許諾するものとします。また、主催者（旺文社）は、上記利用にあたり必要な範囲での改変、翻案および編集等を行い、必要な範囲で方法・媒体を問わず利用できるものとします。なお、当コンクール事業以外の利用については別途応募者（作者）ご承諾のうえで行います。

◆個人情報の取り扱いについて

応募の際に提供された個人情報（氏名、学校名、学年、年齢、住所、電話番号等）は、コンクール運営業務（審査本人確認、受賞および表彰式等に関するご連絡、受賞者の発表、作品集への掲載、作品集および参加賞等の発送、品の返送、アンケートの実施、次年度開催に関するご連絡等）の目的以外では使用されることは一切ありません。

なお、作品集への掲載は、原則として氏名、学校名、学年（別途ご提供いただいた情報がある場合はこれを含みます）となります。また、旺文社はコンクール運営のために個人情報の取扱いを委託することがあります。

お送りいただいた個人情報の取扱いについては、旺文社ホームページに掲載の旺文社の個人情報保護方針をご参照ください。